

病院の実力

2014 総合編

読売新聞医療部【編】

膝や股関節の痛みに悩む方へ

人工関節治療特集

膝・股関節の治療、人工関節手術に実績ある病院

広告特集

2014年2月3日発売

「病院の実力」に掲載



社会医療法人 玄真堂

川島整形外科病院

〒871-0012 大分県中津市宮夫17 TEL.0979-24-0464

<http://www.coara.or.jp/~gensin/>



Hospital Data

社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院

<http://www.coara.or.jp/~gensin/>

所在地 大分県中津市宮夫17

電話 0979-24-0464

診療科目 整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、脳神経外科

▼人工関節手術実績
(2013年1月～12月)

膝関節	32件
股関節	72件
手術総数	104件

徹底的な省エネをはかっているのも特徴だ。医療設備についても、手術の中継



社会医療法人
玄真堂

川島整形外科病院

新病院開院で誓いを新たに 地域に信頼される医療を提供

戦国の武将・黒田官兵衛の城下町として、また福沢諭吉の故郷としても有名な大分県中津市。同市内にある川島整形外科病院は、昨年11月、新しい病院へと生まれ変わった。高圧酸素治療や骨髄炎治療では国際的にも評価のある研究、治療実績を誇り、近年は大腿骨近位部骨折における豊前豊後地域連携パスも着実に機能。地域住民の健康と命を守る整形外科専門病院として、ますます良質な医療を提供しようと努めている。

あらゆる専門領域に対応、
先進機器が整った病院



第一診療部長
永芳 郁文

●ながよし・いくふみ / 大分医科大学卒業後、同大学附属病院整形外科入局、助手を務め、平成5年～平成6年米国Rush大学Pres.St.Luc.Med.Center留学等を経て平成9年川島整形外科病院勤務。日本整形外科学会認定整形外科専門医。日本リハビリテーション医学会認定リハビリテーション科専門医。大分大学臨床教授(地域医療)。

新病院(93床)は5階建てで、1階に一般外来の診察室や救急処置室、250人収容可能なホールがあり、2階は医局や医師秘書室、完全無菌の手術室3室などが入る。3～5階は入院病棟で、入院中も快適にお風呂に入れる施設や面会にきた家族もくつろげるラウンジなど患者やサポートする家族にとって快適で使いやすい環境が備えられている。

建物は一階が鉄骨鉄筋コンクリート造、二階以上は鉄骨造。地震や津波など万一の災害に備えた構造になっている。太陽光や天然ガスなどの自然エネルギーを発電や空調に利用し、

映像をリアルタイムで観ながらカンファレンスや家族説明などが可能なシステムや、短時間で精密な検査が可能な16列マルチCTを導入するなど、整形外科病院としてあらゆる専門領域に対応できる機器が整っている。

「旧病院よりも、新病院の方が、ナースステーションと各病室が最短距離で行けるようコンパクトに配置されているのが優れています。より迅速かつ密に患者さんと接することができるようになりました」と永芳郁文医師は笑顔で話す。

快適なリハビリ室
より精度の高い先進の手術

股関節や膝関節の痛みを訴える高齢の患者は年々増加傾向にあるという。「変形性の膝、



川島整形外科病院
副理事長・院長代理

川島 眞之

●かわしま・まさゆき / 大分医科大学医学部医学科卒業。1998年大分医科大学整形外科入局。2004年～05年マサチューセッツ総合病院整形外科へ留学。06年7月川島整形外科病院入職、12年より現職。川島整形外科病院副理事長・院長代理。大分大学臨床准教授(地域医療)。医学博士。日本整形外科学会認定整形外科専門医。日本リウマチ学会認定リウマチ専門医。



LEDライトの中央にカメラが内蔵されており、術野の画像を映し出すことができる。

股関節関節症は進行性の疾患であり、機能が衰えていくことが多いため、痛みを和らげ、関節の機能を維持していくためにはリハビリ(運動療法)を続けて頂くことが最も大切です。当院では医師と理学療法士が連携しながら、患者さんの状態に応じたリハビリプログラムを作って正しい身体の動かし方を丁寧に指導しています。リハビリテーション室は3階にあり、運動療法、物理療法エリアは広々として動きやすい。



患者の骨の状態に適合する実物のモデルを作成し、手術を実施する。

スリングセラピーやマイクロロボも設置。中津の町並みが一望できるテラスもあり、快適なリハビリ環境が用意されている。

人工関節手術が必要となる場合、「患者さんとよく話し合っただけで個別の事情に応じた適切な実施時期を決めていきます」と同院では2013年、人工股関節手術24件、人工膝関節手術32件、人工骨頭挿入手術48件を実施(1～12月)。人工膝関節手術については、個別の患者ごとに手術の器具を作る先進治療法を取り入れ、今年1月から本格的に運用を開始。個別の患者の骨に合った形状の器具で、より低侵襲、精度の高い治療を行う。

「新病院の開院を機に、これからはますます地域の方々に信頼される良質な整形外科医療を提供していこうとスタッフ一同、誓いを新たにしています」と、新たな機能を活かしたいと地域医療を牽引していきたいと語る。